

特集

地域を巻き込み 人とつながる ～未来へのバトン編～

それぞれの立場から、地域のあるべき姿を見据え、未来へつなげる活動。
共通しているのは「地域が主役」という思いです。

活動のきっかけや内容について
教えてください。

約6年前、婚約中の私たちは、田
布施町の地域おこし協力隊として
馬島に住み始めました。任期満了後
は、馬島の情報発信やイベント企画
などを行う「うましまCOLOR」
として活動を続けています。

現在は、島にあるキャンプ場の管
理、豆茶の栽培・販売、イベント開催
などを手掛けています。

豆茶は、島のおばあちゃんが出し
てくださって、とてもおいしかった
ことに感激したので、作り方を教え

うましま 馬島に魅せられて



うましまCOLOR

ふじ た えり か けい た ろう
藤田 枝里香 さん 敬太郎 さん

瀬戸内海に浮かぶ人口約30人の小さな
島での暮らしを楽しみながら、夫婦で島の
魅力を発信しています。

てもらい商品化しました。

2つのイベントを平成26年から毎
年開催しています。「うましまこと
もキャンプ」は、島外の小学生を対
象に春と秋に行っており、山も海も
ある自然がいっぱいの島で思い切
り遊び、野外炊事、テント泊など、大
学生のサポートのもと体験しても
らいます。「収穫体験&野外クッキ
ングもぐモグ」は、誰でも参加可能
なイベントで、野菜の旬を感じ、直
接土に触れて、収穫・野外料理を体
験することができます。

活動される中でのご苦労や
喜びについて教えてください。

イベント内容を考えること、畑の
準備や草刈りなどの整備では苦労
することはありますが、島の魅力を
伝えたいという思いで頑張ってい
ます。

キャンプでは、参加前と後の子ど
もの表情の変化を肌で感じるこ
とができます。玉ねぎを食べることが
できなかった子どもが、玉ねぎスラ
イスをお代わりしていたこともあ
りました。6年生の男の子は、来年
からはスタッフで関わりたいと
言ってくれています。継続してイベ
ントを開催することによって、子ど
もたちの成長を毎年感じるものが
できます。また、参加した子どもが、
親を誘って家族でキャンプに来て
くれたことなど、喜びは数えきれま
せん。

